

會社側ニ於テハ爭議圖ノ要ニ事項ニ基キ目下對策考
究中ニシテ社長ノ意思ヲ氣取シ要求事項中ノ四西
項ヲ以テ妥協ヲ圖ル事定ナルニシテ如シ
一石及申一通一報候也

（新刊）
各社主請君に申し上げさす

近川自煉瓦會社ノ爭議は益々烈しく存りまじき！
近川工場、福島縣 湯本 平 指井、土平の春工場では一片の輝瓦も認めず
大坂の工場でも從業員の首切りが山サワ平が夫をたつてきた 標主請君は各月
の積立總會、福原を御不知やかり、去年十一月五日及び五日奔折、帝國興業日
報を對して存りまじきか 去年月、五月が山奔折した品川自煉瓦會社、勞働爭議
は今日尚ほ猛烈に行なれ居る、新聞には記事が出さぬ人から爭議は行さす
へへと思はれぬかも知れぬし、要務伊藤多兵衛氏の功初なる危界をさす、新
報のり方もちの様に同きまじきので西の私達から申し上げをおさす。
私達は何故伊藤氏を排撃するかに、唯私達は由藤深及會社を級か遠つてから今日私に
又現に流し入水たからでず、必ずの故伊藤氏は自決を迫つて會社をとり、國
復治させたいからでず

先月二十八日の株主總會では會議十分で會社の事を心配すか株主から爭議の質問を
受けて行き詰つて逃げ出してしまつた、
亦伊藤氏は私達を不平分子と云つて株主をゴマカサつとして居るか是れは余りに目
分の罪をカクさんとするアワシムべき行為だんではかり、
爭議は一部の人がやつて居る如く伊藤氏は云ふからして居るか是れも眞赤なウソ